



No.137 2017. 3

発行 真言宗豊山派
北田山 寶泉寺
所沢市北岩岡 130
編集 色 摩 真 了
ホームページアドレス
takaranoizumi.com

東日本大震災から6年 寺院防災フォーラムに参加して

東日本大震災から6年が経ちました。年忌では七回忌にあたることもあり、仏教界でも様々な行事が行われています。寶泉寺では、3月11日の午後2時46分より大住職と住職の二人で追悼法要を営みました。

その3月11日に先立ち、中野区にある真言宗豊山派の大寺院、宝仙寺を会場に「寺院防災フォーラム」と題された勉強会に参加してきましたので、その内容をご紹介します。

講師は「仏教を基盤に世界の紛争、災害、貧困、環境問題等の解決に取り組む」団体である「仏教NGOネットワーク」の防災プログラム担当にして曹洞宗僧侶の自覚大道（じかく だいどう）師。自覚師は阪神・淡路大震災をはじめ、中越（沖）地震や東日本大震災におけるボランティア経験から特に寺院が関わることのできる防災・被災者支援という観点で『寺院防災ガイドブック』をまとめられました。

今回の勉強会はこのガイドブックを使い、防災、被災時における最低限の知識を学ぶ講義の部と、実際にお寺が避難所となったことを想定したワークショップ「避難所運営を経験してみよう」の二部構成で行いました。

講義の部では、マグニチュードや震度の定義（震度が一つ上がると揺れは3倍等）や、怪我や病気の知識や対処方法（火傷は身体全体の1%（片手の手



の平) を超えたら何としてでも病院に行くこと等)、もしもの時のために備えておくべきものを具体的な体験から教えていただきました。なかでも食料や簡易トイレなどの通常イメージされる防災グッズに加え、車のバッテリーから電源がとれる「パワーインバーター」は必ず購入しておくべきとのアドバイスには一同頷くばかりでした。



くらのやみの中のワークショップ

ワークショップの部では、震度7の直下型地震が起きたことを想定し、30人ほどの参加者が、100名の避難者から成る避難所を運営するという形式でロールプレイを行いました。このワークショップは、まず4、5人で一つのグループを作り、代表や事務局、広報班、食料班、物資班、保健班などの役割を分担します。そして予め用意されていた問題（トイレがあふれて苦情が出ている。外国人旅行客が避難してきた。子どもが火傷を負っている。ご遺体が運ばれてきた等々）を事務局が整理し各班に伝え、各班は諸問題について、どのように対処するかを発表するというものでした。

短い時間の演習とはいえ、場には緊張感があふれ、運営の難しさを参加者全員が痛感しました。様々な難題があっても、特に震災などの極限状態にあっては他者への思いやりが不可欠です。今回の勉強会ではそのことを改めて教えてもらった気がします。（真了）

災害 はいつやってくるか分かりません。昨年夏、寶泉寺では豪雨で側溝からあふれ出た水で「るり洞」が床上浸水にあってしまいました。参道正面から流れ込む水は想定内で対策は講じていましたが、神社敷地側溝全面から流れ込む水には未対策でした。自衛のために土盛りで対策をしました。

また大師堂の屋根瓦が不安定にずれて危なそうと、お参りの方からご指摘がありました。屋根全体を見回すと不具合が散見され専門業者の手により補修したところでした。一般的な賠償責任保険には加入しておりますが、これで安心とはせず何よりも日頃の点検はもちろん危険や不具合を察知する目を養うことが大事と思います。（真琴）

護摩法要

日時：3月21日（火）

午後1時開始

会場：寶泉寺大師堂

皆様の願文が書かれた護摩木をお焚き上げします（1本300円）。

護摩木は17日のお彼岸入りの日から法要直前までお受けしますので、大師堂内でご記入ください。

花まつり

日時：4月8日、9日

10時～16時

会場：寶泉寺本堂

おしゃかさまの誕生祝いを花まつりと言います。期間中は甘茶やお菓子でお接待しますのでお気軽に遊びにきてください。

また、いつでも腕輪念珠を作ることができるよう、準備しておきます。



老僧のつぼやき④

寶泉寺にも冬でなければという仕事があります。それは雑木林の手入れ、今年は古い木を4本を伐採しました。いずれも小僧には思い出ぶかい木で、今から30年以上も前にさかのぼります。普山（しんざん：住職になること）当時は現在の大師堂が本堂で、東隣に茅葺きの庫裏、それと旧墓地、そのほかの敷地はすべて雑木林でおおわれていました。今ではわずかに駐車場北側の雑木林がその面影を残しています。

「松の木」、塀の内側の駐車場際にそびえるそれは、珍しいからと頂いたものでした。風や雪の重みに弱く大きな枝が何度か折れて落下、危険を感じていました。

「ソロの木」、玄関そばのは元々雑木林に生えていたものをそのまま残したものです。近年玄関先が暗くなったので思い切って伐りました。残り3本がもとの姿を留めています。

「ヤマザクラ」、道路際の駐車場の一角、これも元から生えてたもので、地際からはひこばえが代替わりなっているのでこれも対象に。伐って見てわかったのですが、芯が腐っていてももしかしたら台風や突風などで倒れる危険もはらんでいました。

「ヤマモミジ」は庫裏前の庭、いつの頃か実生で生えたものを移植したもので、大きくなりすぎて間引くことに。幹の直径は40センチを超えていました。

こんな仕事もお寺の護持には大事なことで、「自分でやれることは自分で」の精神で続けるつもりです。

写経の集い

新しいこと始めてみませんか

ご詠歌の集い

日時 毎月第二・四水曜日
午前十時～十二時

会費 五〇〇円(一回)

※書道用具のみお持ちください。

日時 毎月第二・四水曜日
午後二時～四時

会費 五〇〇円(一回)

※はじめのうちは持ち物なし。



～写経の集いとご詠歌の集いで手に入れられるもの～

- 一. 仏さまの教え (お寺の裏話も?)
- 二. 写経、ご詠歌の技術や思想
- 三. 楽しい仲間たちとの充実した時間

日取りや時間は場合により変更ありますが、お気軽に連絡ください。

編集後記

- ・原発事故が重なり、震災復興にはとてつもない時間と費用がかかる。この地域には豊山派寺院も多く、いまだに数々の困難に直面している。そんな中、派内寺院協力のもとで、合同の慰霊堂建立がかない間もなく落慶法要が厳修される。ご住職や檀信徒の皆様には復興の大きなステップとなることをせつに願う。
- ・今どき、教育の場に「教育勅語」の唱和が

あるとは驚いた。それを教育目標にするとしても何もそのまま使うこともあるまい、内容を吟味してその精神を受け継ぐ文章にすればいいのにと感じてしまう。

- ・20年以上は使っただろうか、愛用チェーンソウが故障、刃を替えて抜群の切れ味を取り戻していたやさきだった。まだ修理して使うつもり、こういうものは使い切るのがエコだと思っている。

Mar.14.2017(琴)